

第四級アマチュア無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法 規

[1] アマチュア局の免許人が、あらかじめ総合通信局長(沖縄総合通信事務所長を含む。)の許可を受けなければならない場合は、次のどれか。

1. 免許状の訂正を受けようとするとき。
2. 無線局の運用を休止しようとするとき。
- ③ 無線設備の設置場所を変更しようとするとき。
4. 無線局を廃止しようとするとき。

[2] 免許人が空中線電力の指定の変更を受けようとするときの手続は、次のどれか。

- ① その旨を申請する。
2. その旨を届け出る。
3. 免許状の訂正を受ける。
4. あらかじめ指示を受ける。

[3] 電波の質を表すものとして、電波法に規定されているものは、次のどれか。

1. 空中線電力の偏差
2. 信号対雑音比
3. 変調度
- ④ 周波数の偏差

[4] 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
- ④ 携帯する。

[5] 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき、その無線局についてとられることがある措置は、次のどれか。

1. 免許を取り消される。
2. 空中線の撤去を命じられる。
- ③ 臨時に電波の発射の停止を命じられる。
4. 周波数又は空中線電力の指定を変更される。

[6] アマチュア局の免許人は、無線局の免許を受けた日から起算してどれほどの期間内に、また、その後毎年その免許の日に対応する日(対応する日がない場合は、その翌日)から起算してどれほどの期間内に電波法の規定により電波利用料を納めなければならないか、次のうちから選べ。

1. 10日
- ② 30日
3. 2か月
4. 3か月

第四級アマチュア無線技士試験問題

法 規

〔7〕 アマチュア局を運用する場合において、空中線電力は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 無線局免許申請書に記載したもの
2. 通信の相手方となる無線局が要求するもの
3. 免許状に記載されたものの範囲内で適当なもの

④ 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの

〔8〕 移動するアマチュア局（人工衛星に開設するものを除く。）の免許状は、どこに備え付けておかなければならないか、次のうちから選べ。

1. 受信装置のある場所
- ② 無線設備の常置場所
3. 免許人の住所
4. 無線局事項書の写しを保管している場所

〔9〕 無線電話通信において、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出符号が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出符号の代わりに、次のどれを使用して直ちに応答しなければならないか。

- ① 誰かこちらを呼びましたか。
2. 再びこちらを呼んでください。
3. 貴局名は何ですか。
4. 反復願います。

〔10〕 アマチュア局の無線電話通信において長時間継続して通報を送信するとき、10分ごとを標準として適当に送信しなければならない事項は、次のどれか。

1. 自局の呼出符号
2. 相手局の呼出符号
- ③ (1) こちらは
(2) 自局の呼出符号
4. (1) 相手局の呼出符号
(2) こちらは
(3) 自局の呼出符号

〔11〕 アマチュア局は、他人の依頼による通報を送信することができるかどうか、次のうちから選べ。

1. やむを得ないと判断したものができる。
2. 内容が簡単であればできる。
3. できる。
- ④ できない。

〔12〕 次の①から③までの事項は、無線電話により試験電波を発射する場合に送信する事項である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- | | |
|-----------|----|
| ① ただいま試験中 | □ |
| ② こちらは | 1回 |
| ③ 自局の呼出符号 | 3回 |

- ① 3回
2. 5回
3. 10回以下
4. 数回